

【遠隔指導で本当に大丈夫なの？】在宅での介入効果



感染症の影響で、医療にもリモート導入が注目されています。

そのような中、リモートでの離床運動に関する報告がフランスから届きました。

この研究では、在宅で療養している COPD の方に、
遠隔システムを介して、呼吸法や運動指導を行い、その効果を検討しています。

その結果、運動機能、呼吸困難感、QOL の改善効果があったというのです。

感染に配慮することで、
離床や活動の機会減少が問題となる中、
工夫をすれば、安全に離床をすすめられると感じる報告でした。

下記原典では、対象者の背景や詳細なアウトカムをみることができます。

是非、ご覧ください。

Tristan Bonnevie et al. Advanced telehealth technology improves home-based exercise therapy for people with stable chronic obstructive pulmonary disease: a systematic review. J Physiother . 2021 Jan;67(1):27-40.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33358547/>

この情報が皆さんの診療に役立つことを願っております。